

令和 6年 4月18日



榊台の絆

- 自ら学ぶ
- 思いやる
- 体を鍛える

《学校教育目標》 絆を深め、人と地域社会に貢献できる生徒の育成 文責:大野光男

◇榊台中学校での新しい出会いを大切にし、多くの人との絆を深めてください。

4月8日(月)に第28回の入学式と始業式が行われ、新しい先生や先輩との出会いがありました。榊台中学校の106名の皆さんとおよそ25人の先生達(4月8日の時点)は、何かの縁でこの榊台中学校で同じ時を過ごすこととなりました。生徒会専門委員会や部活動、行事などではじめて話す機会ができた先輩または後輩との出会いを大切にしてください。私は、皆さん一人一人がこの学校でみんな仲良く明るく元気に過ごし、お互いに切磋琢磨しながら、将来に向けて確かな学力とたくましい心身を身に付けてほしいと願っています。

先日行われた生徒会オリエンテーションや生徒会専門委員会、部活動の見学・仮入部では、2、3年生が1年生に優しく丁寧にわかりやすく説明しようとしている姿が見られ、とてもうれしく思っています。きっと1年生の目には、やさしくたのしい先輩、尊敬できる先輩と映ったと思います。1年生の皆さんは、榊台中学校について色々なことを知っている2、3年生の先輩達に積極的に聞いて、早く中学校生活に慣れてください。そして、全校生徒の皆さんで、皆さん一人一人が明日も学校に行きたいという気持ちになる学校づくりに取り組んでいってください。



生徒会長の歓迎のことば



1年生代表の誓いのことば



1年生初めての学活



1年生入学の記念撮影

◇4月8日の新鮮な気持ちを忘れず、自分の目標達成に向けてがんばってください!!!

始業式では、学年の代表として2年生の〇〇〇〇さん、3年生の〇〇〇〇さんが、新年度(進級時)の目標や抱負などについて、立派な態度で発表してくれました。

また、入学式では、生徒会長〇〇〇〇さんの優しく温かい歓迎のことばがあり、きっと1年生も安心できたことと思います。2、3年生による歓迎の歌も体育館に響くととてもよいものでした。そして、1年生28名の代表の〇〇〇〇さんも、とてもしっかりした態度で素晴らしい誓いのことばを述べてくれました。

4月8日の新鮮な気持ちを忘れずに、クラスなどで立てた自分の目標を達成できるように、具体的な計画や取組を考えて、がんばって1年間続けてください。

◇大災害時は、避難訓練や自助、共助、公助を思い出して被害を最小限に抑えよう。

例えば、練習もしてないのに、試合で勝とうとすることは無理なことであると誰でもわかりますね。また、本番に向けて日頃からの練習が大切だということも誰でもわかることです。同じことが突然の大災害時の対応にも言えますので、避難訓練をこれからも大切にしてください。また、大災害時に被害を最小限に食い止めるには、自助、共助、公助が大切と言われています。

まずは、「自助」として、いざという時に自分や家族の命を守るために、事前に避難場所の確認や防災グッズの準備等に取り組んでみてください。また、ご家庭でも大地震発生や大型の台風上陸などの大災害時の対策について時々話題にしてみてください。



避難訓練のようす(机の下へ避難)

令和6年度の始業式での校長のことばの一部を掲載します。

～前略～

3年生の皆さんは最上級生ですから、学校行事や生徒会活動、部活動など学校生活におけるすべてのリーダーとして活躍してくれることを期待しています。下級生に優しく丁寧に教えてあげるのはもちろんですが、後輩達のよき手本として行動でも示してあげてください。そして、尊敬され、憧れられる先輩を目指してください。

また、義務教育9年間の最後の年です。自分の進路を決め、大人社会への第1歩を踏み出していかなければなりません。自分の進路希望を叶えるために、しっかりした目標とその達成のための計画を立て、日々努力を積み重ねていってください。そして、自分に自信をもって笑顔で樺台中学校を卒業できることを願っています。

皆さんが希望校等に合格できるように、また、立てた目標が達成できるように、先生達も応援しますので、頑張ってください。

2年生の皆さん、新しく入学してきた1年生に、この樺台中学校での生活や中学生としての心構えなどをやさしく丁寧に教えてあげてください。そして、早く1年生が樺台中学校での学校生活に慣れるようにしてあげてください。

また、2年生の皆さんは、少しずつ3年生に替わり、部活動や行事、生徒会活動などを引き継ぎ、学校を盛り上げていく立場となります。つまり、2年生の皆さんは、中堅学年としての大きな責任をもつこととなります。新しい1年生と一緒に、この樺台中学校をさらによい学校にしてください。

そして、西中学校との統合の準備がはじまりますので、3年生と2年生の皆さん、ご協力をよろしくお願いいたします。

話は、変わりますが、アメリカ合衆国の第16代大統領リンカーンを知っていますか。皆さんにとっては、歴史の勉強の中で、南北戦争や奴隷解放に大きく関わった大統領として教わると思います。

このリンカーンの残した言葉の1つに、「意志あるところに道はひらける」というものがあります。これは、「どんな困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば、必ず道はひらける」という意味です。

2、3年生の皆さんもこのリンカーンのように、自分の夢や目標、志をしっかりもち、努力しつづければ、きっと達成できると信じて、がんばってみてください。～後略～

令和6年度の入学式での校長のことばの一部を掲載します。

～前略～

さて、入学式にあたり、一年生の皆さんに期待を込めてお願いがあります。

本校の教育目標は、「絆を深め、人と地域社会に貢献できる生徒」です。皆さんは、これからの変化の激しい社会の中でもたくましく生き抜く力を身につける必要があります。

そのためには、たくさんの人たちとの絆を深め、お互いに切磋琢磨して、自分の学力や体力の向上、そして、健やかでたくましい心と体（からだ）づくりを目指してください。

それらを達成するために、中学校生活の中で、次の3つのことに頑張ってみてください。

1つ目は、「自ら学ぶ生徒」です。未来を切り拓くための土台となる学力の向上に努めてください。

2つ目は、「人を思いやることができる生徒」になってください。協力し合ったり、助け合ったりする家族や同級生、そして先生方などの絆をさらに深めてください。

3つ目は、「心身を鍛える生徒」です。体育の授業や部活動などを通して、健やかでたくましい心と体（からだ）をつくり、難しい壁にぶつかっても、粘り強く努力し、それを乗り越えていってください。

続きまして、保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。これから思春期を迎えるお子様にとって中学校生活は、将来、独り立ちできる社会人になるための土台づくりとなる大切な3年間です。お子様たちが健やかでたくましい心と体（からだ）へと成長していくためには、私たち教職員と保護者の皆様との連携・協力が必要不可欠と考えております。

少しでも心配な事や不安な事などございましたら、遠慮なく学校へご相談ください。

また、ここにいる1年生の皆さんが、「樺台中学校に入学してよかった」、そして、保護者の皆様が、「この樺台中学校に入学させてよかった」と言っていた学校になるよう教職員一同、努力してまいります。

どうか保護者の皆様、小学校の時と同様に、本校へのご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。さらに西中学校との統合の準備が本格的に始まりますので、重ねてご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。～後略～